



# チャレンジ！一歩前へ

郡山市立橋小学校  
学校だより No.71  
令和6年 3月18日  
文責：校長 酒井 健

## ◇各学年の子どもたちと6年生との触れ合いの時間「遊ぶ会」

3月11日(月)～18日(月)の中で、各学年の子どもたちと6年生の子どもたちが、思い出づくりの一つとして、「遊ぶ会」を行いました。一つの学年と45分だけではありますが、体育館で触れ合うことができた6年生、そして、各学年の子どもたち・・・お互いが、思い出をまた一つ増やすことができました。

写真は、14日(木)に行われた「4年生と遊ぶ会」の一コマです。卒業まであと4日ですね。



## ◇校舎のあちこちに「サンクスロード」ができています。

5年生の子どもたちが、6年生への感謝の気持ちを含めて、絵とともにメッセージを書いて廊下に掲示しています。そこは、まさに「サンクスロード」となっています。廊下を通る度に、メッセージが目に入り、6年生もきっと喜んでいることでしょう。在校生の温かい気持ちが、心に染みます。



## ◇常任委員会、お世話になりました。

3月15日(金)、17時30分から集会ホールで「常任委員会」が行われました。本部役員、学年委員会、専門委員会の役員の皆様方にお越しいただき、今年度の反省と、来年度の行事の見通しなどについて話し合いをしました。

今年度、子どもたちが安心して、楽しく、そして充実した日々を過ごすことができたのも、保護者の皆様方、そして役員の皆様方のおかげであります。温かなご協力、そしてご支援をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

来年度、令和6年度も、何とぞよろしくお願いいたします。



### 校長のひとりごと

間もなく、卒業式。59名の卒業生が、橋小学校を巣立っていきます。この季節になると思い浮かぶ言葉があります。今日、書かせていただくのは「思い浮かぶ言葉 Part1」です。

「出会いとは偶然 別れは必然」・・・出会いは偶然であり、別れは必ず訪れる・・・という言葉です。私が、今年度、橋小学校に赴任することができたのは、そして、橋小の子どもたちに出会えたのは、偶然であります。卒業式を迎えるということは、分かっていたこと、つまり必然的であるということです。

ある雑誌を見ていたら、松下幸之助の「道をひらく」に収録されている詩がありました。松下幸之助は、自身の人生を振り返り、「人生の折々に多くの人と出会い、さまざまな指導や助言、協力をいただいたことが、今日のぼくをあらわしている、という気がするのです」と述べています。

卒業生も、これからの生活の中で、たくさんのお会いをしていくでしょう。偶然の出会いを大切に、出会えた縁に感謝できる、そのような人になってくださいね。

縁あって  
この世における  
人と人とのつながりを、  
もう少し大事にしてみたい  
もう少し  
ありがたく考えたい  
不平や不満で  
心を暗くする前に  
縁のあったことを  
謙虚に喜び合い  
その喜びの心で  
誠意と熱意をもって  
お互いのつながりを  
さらに強めていきたい

